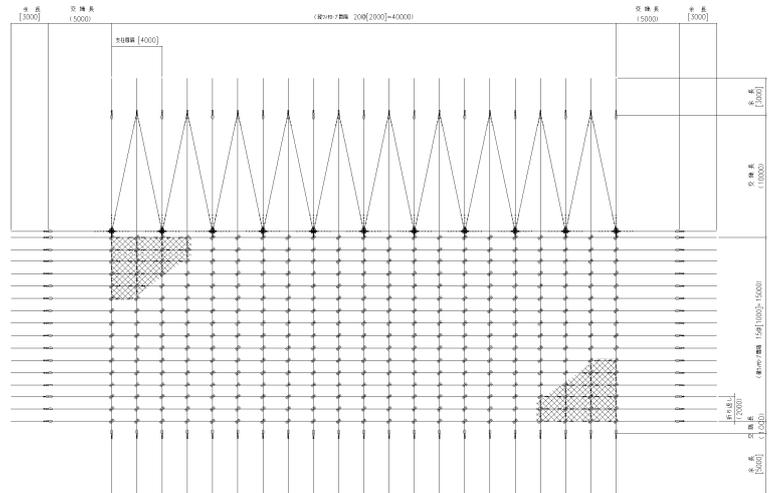


活用調査表

様式6

技術名 RCネット工法(高エネルギー吸収型落石防護網)	登録 No.
	18D2021

施工内容
工事名 : 平成18年度 主要地方道佐渡一周線離島地域連携(県道防災)工事
施工数量 : ロックネット工(高エネルギー吸収型落石防護網) = 600m²
工期 : 平成19年6月23日 ~ 平成20年2月26日



概要
 佐渡一周線(北鶴島地区)脇斜面の落石対策工事である。斜面上方からの落石に備え、支柱を設置しポケットを設け落石を捕捉する。ポケット内に入った落石に対しては跳躍を抑え、エネルギーを減衰させ落石をRCネット下端で停止させるものである。

特徴
 当現場で使用したポケット・キャッチ式RCネットは上方からの落石を多く発生する箇所で、道路が狭く道路脇などに十分なスペースがない場合に多く用いられるものである。RCネット工法は緩衝金具を使用することにより、落石が発生した場合、アンカーおよびネット全体に加わる荷重を緩衝金具の働きにより一定値内に制限します。つまり、理論的にはアンカーおよびワイヤロープが破断することはありません。

実施結果
 比較した従来技術「ロックシェッド」
 ・ロックシェッドと比較し、大幅に経済的であり、工期短縮となる。
 ・部材が軽量であり、法面での重機作業もないため、施工性は良い。
 ・自然改変が小さく、着色塗装もできることから、国立公園内の景観への配慮に有効であった。



トライアル工事での評価結果

<input checked="" type="radio"/> 経済性	<input type="radio"/> 安全性
<input checked="" type="radio"/> 工程	<input checked="" type="radio"/> 施工性
<input type="radio"/> 品質	<input checked="" type="radio"/> 環境

◎: 優れている ○: やや優れている
 □: 従来技術と比べて同程度
 △: やや劣っている ×: 劣っている



新技術問い合わせ先
会社名 : 株式会社シビル
所属部課: 技術営業部
担当者 : 近藤智裕
TEL : 025-284-2428

活用調査表

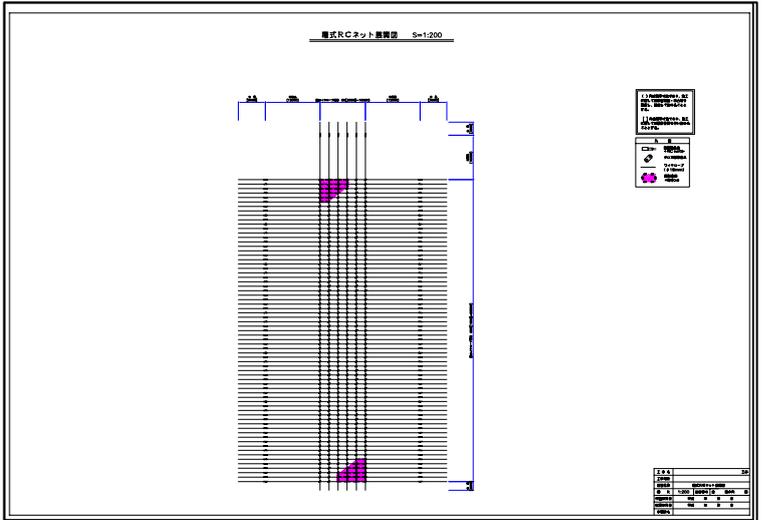
様式6

技術名 RCネット工法(高エネルギー吸収型落石防護網)	登録 No.
	18D2021

施工内容
工事名 : 平成18年度(主)佐渡一周線離島地域連携(県道防災)工事
施工数量 : ロックネット工(高エネルギー吸収型落石防護網)=680㎡
工期 :
 平成19年9月24日～平成20年3月7日

概要
 佐渡一週線(矢柄地区)斜面上の落石対策工事である。斜面上からの落石に備え、岩塊部分に金網、ワイヤロープ、緩衝金具で落石を捕捉し跳躍を抑え、エネルギーを減衰させ落石を高エネルギー吸収防護柵まで誘導させるものである。

特徴
 当現場で使用した覆い式RCネットは落石が発生する恐れがある箇所、道路脇などに十分なスペースがある場合に多く用いられるものである。RCネット工法は緩衝金具を使用することにより、落石が発生した場合、アンカーおよびネット全体に加わる荷重を緩衝金具の働きにより一定値内に制限するもので、理論的にアンカーおよびワイヤロープが破断することがない。



トライアル工事での評価結果

比較した従来技術: 落石防護網+高エネルギー吸収柵

項目	評価	評価内容
経済性	○	本箇所における落石対策として最も経済的な工法であり、比較すべき技術(ロックネット+リングネット)と比べて約16%のコスト縮減が実現した。
工程	○	本工法のみで落石対策ができるため、比較すべき技術(ロックネット+リングネット)と比べて工期短縮が図られた。
品質	○	本工法のみで落石対策ができるため、比較すべき技術(ロックネット+リングネット)と比べて工種が少なく管理項目を減少できた。
安全性	○	比較すべき技術(リングネット)の支柱建込に必要なボーリングマシンが不要となり、重機への安全性が向上した。
施工性	○	比較すべき技術(リングネット)の支柱建込に必要なボーリングマシンが不要となり、仮設工が減少できた。
環境	◎	重機を使用しないため騒音が発生せず、重機ヤードに必要な立木伐採が生じない。柵に比べて圧迫感がなく、着色することで景観に馴染み易い。

◎: 優れている ○: やや優れている
 □: 従来技術と比べて同程度
 △: やや劣っている ×: 劣っている

新技術問い合わせ先

会社名 : 株式会社シビル
所属部課: 技術営業部
担当者 : 近藤智裕
TEL : 025-284-2428

